

「大阪市一般廃棄物処理基本計画（案）」に対する
パブリック・コメントに寄せられたご意見の要旨と本市の考え方

| 項目 | ご意見の要旨 | 本市の考え方 |
|-------|---|--|
| 食ロス削減 | (国における食品ロス量) これは廃棄しているのか？ | ご意見のあったグラフについては、国の食品ロスについての統計情報を基に作成しています。国のHPにおいて、食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物のことと定義されています。 参考： https://www.env.go.jp/recycle/foodloss/general.html |
| 食ロス削減 | 事業所からは食品ロス量が5.5万トンとしてこれは大阪市か？ | お見込みのとおり大阪市における食品ロスの量になります。 |
| 食ロス削減 | 食品ロス削減にも注力していただきたいです。 | 食品ロス削減の取組は、ごみの減量だけでなく、家計負担やごみ処理に係る財政支出の削減、さらには、温室効果ガスの排出量の削減等が期待できるものであることから、市民・事業者・来阪者・行政が一体となって食品ロス削減に取り組むこととしています。 |
| 食ロス削減 | 30・10運動を知っている人を今まで見たことがない。宴会での、食べ残しはとてももったいないです。ホテルなどと提携して、ホテルでの食事予約のうちに、知ってもらっても良いのではないのでしょうか？ | 30・10運動は、宴会等での食べきりを促進し食べ残しを減らす取組であり、飲食店等に対し、ホームページで普及啓発用資材の紹介等を実施するほか、市民に対してホームページや本市イベントでの啓発を行う等により、今後も30・10運動の普及啓発に努めてまいります。 |
| 食ロス削減 | おおさかパルコープでは”もったいないをありがとう”とフードドライブ活動をしています。もっと市民の方にしてもらいたいと思います。 | 大阪市が収集している「普通ごみ」の収集量のうち、1割強が手つかず食品や食べ残しといったいわゆる「食品ロス」に該当するものであることから、ごみ減量を進めると同時に「食品ロス」削減に向け、大阪市ではフードドライブを実施しています。 市民の皆さまからフードドライブにご協力をいただけるように、ホームページやSNSによる周知を行うほか、ごみ減量フェスティバルや各区ガレージセール等においてもフードドライブの実施や周知を行ってまいります。 |
| 食ロス削減 | 30・10運動をPTA総会等でも広め、多くの人で取り組めるようにお知らせする。 | 30・10運動は、宴会等での食べきりを促進し食べ残しを減らす取組であり、飲食店等に対し、ホームページで普及啓発用資材の紹介等を実施するほか、市民に対してホームページや本市イベントでの啓発を行う等により、今後も30・10運動の普及啓発に努めてまいります。 |
| 食ロス削減 | ドギーバッグ（持ち帰り容器）がまだ恥ずかしいとイメージがあると思うので、もっと宣伝しておしゃれなパッケージにして当たりまえになるようにお知らせする。 | ドギーバッグは、外食時に食べきれなかった料理を持ち帰るための容器で、使用することにより食べ残しにより発生する食品ロスの削減につながることから、本市イベントでの配布やホームページでのPRを行っており、今後もドギーバッグの普及啓発に努めてまいります。 |

| 項目 | ご意見の要旨 | 本市の考え方 |
|------------|---|--|
| 普及啓発 | <p>ごみゼロリーダーについて 役割と どのような方が担っているのか、また人数などの注釈を入れていただきたいです。 一般公募もされているのでしょうか？</p> | <p>ごみゼロリーダーは、地域活動協議会、地域振興会等の推薦により市が委嘱し、地域において一般廃棄物の減量化、資源化の推進及び環境意識の普及啓発を図り、循環型社会の形成推進に寄与する活動を行っていただいております。また、ごみゼロリーダーは地域団体からの推薦を基本としているので、一般公募は行っていませんが、活動に関心のある方は、地域の町会や自治会を通じてご相談ください。人数等の活動詳細については、下記HPもご参照ください。 https://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000370535.html</p> |
| 普及啓発 | <p>啓発の推進について～ 広報誌やホームページでも知らせていただいているので気をつけて見るようにしています。ただ、高齢化や単身家庭も多いと思いますので、市民の皆さんの目に留まるようにも進めていただきたいです。 市民参加型の企画を各区でも頻繁に開催していただきたいです。</p> | <p>ごみ減量・分別の啓発につきましては、本市広報紙やホームページ、SNS等を活用した情報発信に加え、地域に密着した廃棄物行政の拠点である「環境事業センター」において、区役所や地域と連携・協働して、ごみの分別方法等の説明会や出前講座、食品ロスをなくす調理教室などの実施のほか、定期的に区役所において「ごみ減量・3R啓発相談コーナー」を開設しています。 引き続き、市民の皆さまにごみ減量・分別に関する情報等が届くように努めます。</p> |
| 普及啓発 | <p>ごみ処理の現状について、ごみ減量への取組みについて、もっと市民に伝える努力をして欲しい。特に普通ごみの中に資源ごみが混ざっていることが多いので、啓発活動は必要です。大阪市のごみ減量フェスティバルに参加して古紙の分別収集について学びました（知らないことがたくさんありました。）もっと市民にごみについて知ってほしいです。</p> | <p>ごみ処理の現状やごみ減量への取組については、市民の皆様の意識を高めるきっかけとなるような積極的な情報発信を行うとともに、具体的な取組方法や取組による効果を分かりやすく伝えることが重要であると考えております。 今後も、各種イベントや本市広報紙、ホームページ、SNS等を通じて、資源ごみ、古紙などの資源の分別排出について、普及啓発に努めてまいります。</p> |
| 普及啓発 | <p>小学校などでの環境教育はとっても大事です。 （楽しく、環境について学べるイベントを多く取り組んで欲しいです。（廃油からつくるローソクなど）</p> | <p>環境教育による行動を促進するため、小中学校等で大阪市独自の副読本「おおさか環境科」による環境教育に取り組み、ごみ減量や地球温暖化、生物多様性などについての理解を深めるとともに、本市職員が出前授業（体験学習）を実施するなど、学校等における環境教育への取組を支援します。また、区民まつり等地域における各種イベントの場を通じて、広く市民に普及啓発を行います。</p> |
| プラスチックごみ削減 | <p>プラスチックの種類ごとに回収できないか？（PP・PEなど）</p> | <p>本市では、令和7年4月からプラスチック一括収集を開始しています。PPやPEの素材別に分別収集すると、品質の高い素材にリサイクルできる一方、分別作業が複雑になることにより、市民の皆さまへの負担が増加します。そのため、現在は、市民の皆さまの分別のわかりやすさの観点から「100%プラスチック素材でできているもの」として収集させていただいております。</p> |
| プラスチックごみ削減 | <p>街中で、給水スポットをみるのが皆無です。京橋の無印良品にはありますが、もっと設置場所を増やして欲しい。</p> | <p>本市では、市内の観光スポットに給水スポットを設置しています。また、関西広域連合と連携した「マイボトルスポットMAP」により、外出先でもマイボトルを利用できるお店を検索できるようにしており、引き続き「マイボトルスポットMAP」に登録するサービス店舗を増やすなど、マイボトルの利用を促進します。</p> |
| プラスチックごみ削減 | <p>『Osakaほかさんマップ』フォローしています。給水スポットは無印の店舗にあります。が、こまめに消毒されているか気になります。特に口のみペットボトルでくっつけて給水されたあとも？と思うと衛生面が気になり利用できません。安心して利用できるように（各自で利用する前に消毒する等）工夫が必要だと思います。ご検討願います。</p> | <p>本市では、使い捨てプラスチック容器の使用削減を進めるため、大阪府や府下市町村、マイボトルメーカー、給水機メーカーなどとともに、「おおさかマイボトルパートナーズ」に参画し、マイボトルの利用啓発や給水スポットの普及に取り組めます。なお、いただきましたご意見は、『Osakaほかさんマップ』を所管する大阪府へ情報共有します。</p> |

| 項目 | ご意見の要旨 | 本市の考え方 |
|-----------|---|--|
| 中間処理・最終処分 | 大阪湾広域臨海環境整備センター大阪沖埋立処分場は来場できるのか？ ここは来場者できるのか、ヨットハーバーのところなのか？ | <p>大阪湾広域臨海環境整備センター大阪沖埋立処分場の見学については、「大阪湾広域臨海環境整備センター」のホームページにおいて見学の申し込みが案内されています。</p> <p>大阪湾広域臨海環境整備センターは、本市とは異なる団体となりますので、下記ホームページを参考に、ご確認ください。</p> <p>○ 大阪湾広域臨海環境整備センター（処分場見学のご案内ホームページ） https://www.osakawan-center.or.jp/index.php/business-summary/guide-2</p> |
| 中間処理・最終処分 | <p>大阪環境施設組合から出ている資料では、年間焼却量が昨年度より増えている。今年度、焼却施設オープデーでゴミが高く積み上げられているのを見たが、火事になった場合は、簡単には消せない。</p> <p>持ち込まれたゴミの量と焼却した量があってないのでは？</p> <p>環境施設組合の資料では、今後も焼却量に余力がなさそうではあるが、今後のことを早急に見直して欲しい。大阪環境施設組合になり、大阪市だけでないので余力を持ってください。火事や故障などがあるはずです。</p> | <p>本計画（案）では、「3-(3) ゴミ処理事業の一層の効率化と将来を見据えたゴミ処理能力の確保（P39）」において、ゴミの焼却処理事業については、大阪広域環境施設組合との緊密な連携のもと、より効率的な運営管理体制を構築するとともに、ゴミ処理量の推移を見極めつつ、将来にわたるゴミ量の増減を見据えたゴミの焼却能力を確保する取組を進めることとしています。</p> <p>大阪広域環境施設組合では、ゴミ処理量に対して10%程度の処理能力を処理余力として設定する計画を立てています。</p> |
| 中間処理・最終処分 | 北港処分地について、「大阪湾フェニックス計画」にも関係していますが、今後の計画(見込み)では何年ぐらい活用ができるのでしょうか？ | <p>本計画（案）では、「ウ 最終処分場（P45）」において、焼却灰は、環境施設組合が北港処分地（夢洲1区）又は大阪湾広域臨海環境整備センターの大阪湾広域処理場で埋立処分を行うこととしています。</p> <p>北港処分地については、本計画（案）の「〈表11〉(1)埋立処分場（P47）」に記載のとおり、令和49年11月を埋立期限としています。</p> |
| イベントごみの取組 | 大阪・関西万博で実施された、リデュース・リユースなどゴミ減量に関する取組はしなくてよい。万博でのゴミ減量に関する取組について誰がそんなことをしたのか？ | 大阪・関西万博におけるゴミ減量の取組は、「本計画（案）」26ページ欄外記載の「持続可能性有識者委員会資料」（公益社団法人2025年日本国際博覧会協会作成分）において公表されています。本計画（案）では、大阪市廃棄物減量等推進審議会の意見を踏まえ、大阪・関西万博で実施されたゴミ減量に関する取組を継承し、引き続き普及啓発することとしています。 |
| イベントごみの取組 | イベントでの使い捨て食器使用削減については、大阪市としてもう一步踏み込んだ姿勢を示していただきたい。 | イベント開催時に使用される使い捨て容器に変え、リユース食器を導入することにより、プラスチックごみの削減やイベント参加者が使い捨てのライフスタイルを見直す啓発効果も期待できることから、イベントでのリユース食器の活用もイベントでのゴミ減量の取組の一つとして、その意義や具体的事例について普及啓発を行います。普及啓発にあたっては、イベント主催者の視点に立って、先行事例等も紹介しながらわかりやすいものとなるよう取り組みます。 |
| リサイクル | ペーパーレス化により、トイレットペーパーになる原料の古紙が少なく、再生トイレットペーパーのメーカーは苦勞しているような話もお聞きしました。事業系で紙ゴミはぜひ回収して欲しい。 | 資源化可能な紙類については、平成25年10月から焼却工場への搬入を禁止しており、資源化を促進するため、古紙を無料で持ち込むことができる「古紙回収協力店制度」を設けているほか、紙類の回収を行っている再生資源事業者の情報をホームページに掲載し、また、機密書類やシュレッダー紙のリサイクルが可能な事業者の情報も紹介しており、今後も普及啓発に努めます。 |

| 項目 | ご意見の要旨 | 本市の考え方 |
|-------------|---|---|
| リサイクル | 古紙・衣類は焼却して構わない。 | 本計画(案)の方針として、2R（リデュース・リユース）の取組を行った後に排出されるものについては、限りある資源の循環利用につなげるため、可能な限りリサイクルを進めることとしております。古紙・衣類はリサイクルルートが確立されていることから分別・リサイクルを推進しています。 |
| まちの美化 推進 | ガムも禁止してほしい。 （捨てられたガム）取るのにスプレーを利用し、器具でこすり取らないとけないので、大変である。 | ガムのポイ捨ては、まちの美観の観点から課題であると認識しています。マナー啓発やポイ捨て防止対策等を通じてまちの美化を推進します。 |
| その他意見 | アパート・マンションのごみは事業系に含まれているが、家庭から出されるごみなので家庭系で扱うようにしていただきたいです。 | ご意見のとおり、アパート・マンションのごみは家庭系ごみの分別ルールに従って排出されるごみですが、許可業者が収集しているものは、統計の扱い上、事業系ごみと分類しています。 |
| その他意見 | 「ごみ」という言葉の定義を大阪市としてしっかり定めて欲しい。「資源ごみ」はごみではない。例えば、「リサイクルゴミ」、「再利用ゴミ」、「エコゴミ」「町中ゴミ」、「自動販売機ゴミ」、「商店ゴミ」など実体にあった表現 | ごみの分別区分名称につきましては、これまでからの周知・啓発の取組により、市民の皆さまに広く浸透・定着していることから変更は考えておりませんが、今後の参考とさせていただきます。 |
| その他意見 | 年齢3区分別人口の推移(大阪市)のグラフについて 各人口の年齢の注釈を入れていただきます。 | 年齢3区分につきましては、国の統計に基づきまして、15歳未満、15歳から64歳、65歳以上の区分に分けております。ご意見のとおり、分かりやすい表記を注釈として記載します。 |